

会社名 価値開発株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田部井 清志
 (コード番号 3010 東証第2部)
 問合せ先 取締役管理本部長 本谷 吉生
 (TEL:03-5822-3010)

平成26年3月期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成25年11月8日に公表いたしました平成26年3月期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 予想値と実績値との差異

平成26年3月期の連結業績予想値と実績値との差異(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想値 (A) (平成25年11月8日発表)	5,370	△210	△305	90	0円68銭
実績値 (B)	5,551	△55	△174	88	0円68銭
増減額 (B-A)	181	155	131	△2	—
増減率 (%)	3.4%	—	—	△2.2%	—
(ご参考) 前年実績 (平成25年3月期連結会計年度)	4,879	△646	△1,314	△3,315	△31円55銭

(金額の単位: 百万円)

2. 差異の理由

平成26年3月期の連結業績予想値と実績値との差異の主な理由は次のとおりです。

売上高の差異は、ホテルセグメントにおいて107百万円、不動産セグメントにおいて74百万円、それぞれ計画を上回ったことにより生じました。主な理由は、ホテルのコンサルタント売上118百万円、信託受益権の取得による賃料増加56百万円などが、計画外で獲得できたことによります。

営業利益の差異は、ホテルセグメントにおいて128百万円、不動産セグメントにおいて27百万円、それぞれ計画を上回ったことにより生じました。主な理由は、売上高差異を生じせしめた計画外の売上の獲得による営業利益の増加でございます。

経常利益の差異は、上記の信託受益権取得の際に設定したローンの、アップフロントフィー及び支払利息が計画外で生じたことにより、営業利益の差異よりも増加額が縮小いたしました。なお、営業外収益として、復興ファンドに係る投資事業組合運用益を第3四半期に21百万円、第4四半期に85百万円計上いたしております。

当期純利益は、債務免除益225百万円、固定資産売却益73百万円などの特別利益を計上し、経常損失を補いましたが、固定資産売却による特別利益の計画が経常利益の増加分とほぼ同額の未達となったため、計画通りの結果となりました。

以上